



鈴木ゆうじの 市政報告

事務所 八王子市大楽寺町412番地 Tel 655-2802 Fax 655-2803
メール yuji-net@wj8.so-net.ne.jp

全都で保育所待機児2万2千名(2月時)、杉並のお母さんたちが区に行政の責任を求めて立ち上がったニュースが報じられました。八王子市でも認可保育所への希望を出しても入れなかった子供たちが405名(3月4日時、昨年は614名)になることが明らかにされました。

児童福祉法では保護者から申し込みがあったときは保育所(認可保育所)で保育をしなければならぬと定めています。厳しく行政の責任が問われています。

認可保育所不足を認証保育所やほかの制度で補っていますが、それでもなお入所できない待機児が375名(4月19日時)います。本年度は定

八王子市でも保育所待機児405名 ニュータウン地区での未利用地の活用求める



員を382人増やす計画が示されていますが、なお待機児童が出るのが予測されます。

担当職員は、民間法人の保育所建設で一番の課題は用地確保だと述べています。ニュータウ

ン地区では、住宅と業務用地とする計画で造成された広大な土地が未利用地として残されています。本年度予算

地区別(人)	
本庁	74
浅川	6
横山	28
館	8
由木	28
由木東	6
南大沢	81
元八王子	25
恩方	4
川口	14
加住	3
由井	40
北野	29
石川	25
管外	4
合計	375

平成24年4月
新定義
待機児童調査
(H.24.4.19集計)

新定義待機児童(人)	
0歳	52
1歳	192
2歳	108
3歳	12
4歳	9
5歳	2
合計	375

食肉処理場訴訟＝裁判所の判決は 市の対応—法治国家としてはあり得ない

控訴取り下げ、話し合いで解決を

食肉処理場協同組合と八王子市の間で処理場の賃借権の確認と屠畜検査を求めて争われていた裁判で、東京地裁立川支部と東京地裁で7日、同月26日それぞれ判決が言い渡され、賃借権契約が継続していること、屠畜検査は保健所政令市として公法上の責務であるとして組合の主張を認め市の主張を全面的に退けました。

判決では、「裁判所の決定を無視するかのような市と市長の態度は甚だ遺憾で、理解に苦しむ。地方公共団体であることを考慮しても、もはやその良識に期待する余地は見いだせず、将来的に賃借権を物理的に妨害する行為におよぶ危険性がある」「裁判所の判断が従っても従うつもりはないなどの発言をし、実際そのような行動をとっていること自体、法治国家における行政機関として通常考え難い事態であるといわざるを得ない」としていずれの裁判でも市の対応を

厳しく処断。私は予算特別委員会の総括質疑で、放置できない重大問題であることを指摘、市と市長の政治姿勢を質しました。

石森市長は「市の主張が理解されなかったことは残念だ」などと述べ、引き続き控訴審で争う姿勢を示しました。

私が「賃借権を確認した仮処分や確定している決定にも従わず、組合の営業を妨害し続けていることは控訴したとしても許されないことだ」と質すと、「控訴中なので答えられない」と口をつぐみました。

私は、「裁判官の前で、担当職員が裁判所の決定が実行できないなど発言すること自体公務員として自殺行為だ。こういう仕事をさせているのは市長ではないか」と指摘し、控訴を取り下げ、今後の食肉処理場のあり方について組合と誠意をもって話し合うよう求めました。



こんな言い分許されない。
驚くべき市の主張

- 組合が行った契約書にある賃借権更新の条項は定型の契約書を使用したためにあるもので市は認めていない。
- 屠畜検査の申請書を市に提出するのは義務の規定であり、検査を求める権利は組合にはない。

これから中核市になろうという市がこんなことでもいいの!?

特養ホーム建設をめぐる重大疑惑！

総額4億6200万円を市が助成、決めうち、狙いうちと指摘



予算特別委で市長の政治姿勢について質問する私

補助制度の内容は、医療対応や看取り介護が可能な特別養護老人ホームを建設する事業者に一床当たり三百万円、応募床数一五四床、総額四億六千二百万円を補助しようとするもの。三月一日からすでに募集を開始し、四月に応募を締切、五月六月で審査を行い、七月に事業者を決定するスケジュール。

予算審査特別委員会の冒頭、この問題を取り上げた自民党新政会のF議員は「特養のこれが応募要領难道でしょうか。まるで病院を建設する応募要領です」とし、「応募要領の要件と特養の要件が一致している。本人がもう言っているの。一五四床をやると言っているの。」とすでに具体的な事業者が決定している旨の発言があり「決めうち、狙いうちだ」と指摘しました。そして「接触した議員がいるでしょう。誰と接触したんだ」との問いに、担当課長は「今年度、四月にF議員からご提案をいただいております

今後のスケジュール

平成 25年	3月	特別養護老人ホーム整備運営候補事業者募集開始
	4月	応募締切
	5月6月	審査
	7月	整備運営候補事業者決定
	9月	都補助金協議
平成 26年	6月	都補助金内示
	10月	施設建設工事開始
平成 27年	12月	竣工
平成 28年	2月	施設開所

“本人が言っているの。一五四床やるって言っているの。”

2月28日から3月28日までの会期中で市議会第一回定例会が開かれました。審議の中で石森市政の新年度予算の最大の目玉政策として新聞報道された、特別養護老人ホーム整備費

補助に重大な疑惑が生まれました。日本共産党市議団は今予算案の最大の問題点として追及し、公正、公平な行政を求める立場から事業の中止を求めました。

ます」と答弁。特養ホームへの今回の助成制度は、自民党新政会のF議員の提案であることが明らかになりました。そして、「この施設といつから議論を始めたの」との問いに担当課長から「4月にF議員から提案をいただいた後、八王子市内で唯一10項目をしている施設に対して現場視察を実施させていただいた。五月ぐらいと記憶している」と答弁がされました。

自民党F議員と「本人」の関係もホームページで明白

- #### 「本人」のホームページから
- 八王子市議会議員のF氏の新春を祝う会に参加させていた
 - 12月土曜日F議員総決起大会での挨拶。
 - F市議会議員のパーティーが開催され市長はじめ皆さん参加されていました。
 - 子安町で委託を受けた地域包括支援センターの内装工事が終了しました。F工務店さんに工事を依頼し〜。

今後、指摘のあった事業者が応募し、最終的に選定されるかどうか、それとも58万市民への信頼を優先させ、賢明な判断を石森市政が下すのか、注目されます。

「重大疑惑」・「法治国家」の「決めうち」

私は、特定の法人への「決めうち」と指摘された特養ホーム建設費補助制度は重大な疑惑があり実施を見合わせることを、「法治国家としてあり得ない」と裁判所から指摘された行政姿勢を議会は追認できない。ガン検診や、ワクチン接種助成を後退させ、一方では無駄遣いをする予算は認めがたいことを指摘し反対討論を行いました。